

腹腔鏡下ヘルニア修復術(鼠径ヘルニア)

経過	1日目	2日目		3日目	4～5日目	
月日	入院日(手術前日)	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術翌日	手術2～3日目	
検査処置	◇お臍のケアをします。 ◇シャワー浴をします。	◇手術前に静脈血栓予防のストッキングを履きます。	◇酸素マスク、心電図モニタ、血圧計を装着します。 ◇尿の管が入ってきます。	◇9時頃に酸素マスク、心電図モニタ・血圧計を外します。 ◇尿の管は抜きます。 ◇朝に採血・レントゲン検査があります		退院後の生活について ◇食事について
薬剤	◇薬剤師が錠用薬確認、使用薬説明を行います。 ◇持参薬は医師の指示により看護師がお渡しします。 ◇午後9時に下剤を飲みます。		◇持続点滴です。 ◇抗生物質の点滴があります。 ◇持参薬は医師の指示があるまで中止です。	◇持続点滴は昼頃終了予定です。 ◇お薬再開時は看護師からお渡しします。		特に制限はありませんが、暴飲暴食を避けて規則正しい食生活を心がけましょう。 ◇お薬について
食事	◇夕食後以降は食べられません。 ◇以下の水分は摂れます。 (水、お茶、スポーツドリンク)	◇絶食です。 ◇以下の水分は()時まで摂れます。 (水、お茶、スポーツドリンク) 以後は何も口にしないでください。		◇朝から食事が始まります。 		医師の指示に従って、正しく使用してください。 ◇入浴について 傷口を強くこすらないように注意してください。 水分は押さえるようにして拭き取ってください。
安静度	◇特に制限はありません。	◇なるべく安静をお願いします。	◇ベッド上安静です。 寝返りや膝立などの動きはできません。	◇特に制限ありません。		◇活動について 重いものを持ちたり、しゃがみ込んだり腹部に負担がかかるような動作や激しい運動は避けてください。
患者・家族への説明	◇医師から手術について説明があります ※承諾書を記入し看護師に渡してください。 ◇看護師から入院生活や手術についての説明あります。 ◇麻酔科医の診察、説明あります。 ※家族の方の同席が必要です。 ◇手術の必要物品をお預かりします。 (パジャマ、下着、タオル)	◇(:)時頃に歩いて手術室に行きます。それまでにトイレや着がえを済ませておいてください。 ※メガネ・時計・指輪・入歯などの装飾品は外してください。	◇家族の方は手術が終了するまで病室か面会室で待機して頂きますようお願いいたします。 (手術後に医師から説明があります。) ◇痛み、気分不良などありましたらナースコールでお知らせください。	◇身体を拭いてパジャマに着替え徐々に身体を起こしていきます。 ◇歩行が安定したらストッキングを脱ぎます。 ◇早期に離床をすることは、術後の合併症に予防になります。 ※最初は看護師が付き添い説明します。無理のない範囲で徐々に身体を慣らしていきます。 ◇尿は21時まで測定してください。	◇医師、看護師から退院後の説明があります。 ◇食生活、仕事復帰の時期などお気軽にご相談ください。 ◇退院精算と当日行います。 ◇退院証明書をお渡しします。 ◇次回受診や退院処方がある方はお渡しします。	◇仕事復帰について 医師と相談してください。 ※無理のないスケジュールで徐々に身体を慣らしてください。 ◇外来受診について 異常(創部からの出血や発熱)などを感じたときはいつでもお問い合わせください。

・状態により指示やスケジュールが変更になる場合があります。

改訂日 2025.09.16 市立ひらかた病院